



7月2日 もう黙っとれん西濃アクション 参加者全員で「戦争を知らない子どもたち」を歌う(JR大垣駅北口広場)

戦争法案は廃案に!!

**戦争法案(安全保障関連法案)の
これまでと、この先**

反対世論のなか 強行採決

7月15日、16日に、衆議院で戦争法案(安全保障関連法案)が強行採決されました。各世論調査において、戦争法案反対が5~6割を占め、また国民への説明が十分ではないと感じている人は8割もいるという情勢のなかでの強行採決でした。

5月26日に衆議院で審議が開始されてから、審議時間は116時間を超えました。与党からは、この審議時間をもつて審議が尽くされたというような主張もありましたが、はたして審議が十分尽くされ、国民が理解をしたかとどうとどうではありません。政府はしばしば答弁不能に陥り、日本共産党をはじめとする野党からの質問に正面から答えず、逃げてばかりの答弁をしていました。こうした審議をどれだけ重ねても、説明不十分と感じている世論調査からも明らかです。

**戦争法案反対
声を大きく
さらに広げ**

そもそも、違憲である戦争法案をどれだけ審議しても合憲にはなりませんし、国民の納得が得られる訳がありません。

「自然成立」なし 戦争法案に

この強行採決で衆議院を通過したことについて、一部メディアでは「今国会での成立が確実となつた」という報道がなされています。

しかし、安倍政権が戦争法案を成立させようとするば、参議院でもう一度強行採決をしなくてはなりません。もしくは、参議院で採決できなかつたとしても、「60日ルール」で衆議院において3分の2以上の賛成を得るための強行採決をするしかありません。つまり、戦争法案は予算案や条約案ではないため自然成立(※)がないので、もう一度必ず強行採決をしなければならないのです。

戦争法案廃棄! 安倍政権退陣! 8.30 国会10万人、全国100万人行動の呼びかけに応え

**8.30もう黙っとれん西濃アクション
on 養老鉄道**

大垣駅前、養老駅前、駒野駅前で「戦争反対」「9条守れ」のポスターを掲示、リレートークをします。

駒野駅前 AM11:50~12:10

安倍政権が強行採決できぬような力関係に追い込まれ、法案を廃案にすることができます。国会内での力関係は与党と野党で大きな差はありますが、国民の世論と運動によりその差をおおいしくして、安倍政権が身動きをとれない状況にする一そういう状況になるまで追い詰めて、必ずこの悪法の廃案を勝ち取ろうではありませんか。

(*) 予算案や条約案は、衆議院の議決・承認から30日以内に参議院で議決しない場合、自然成立・承認となります。

国会周辺、全国各地で まき起こる戦争法案 反対の国民の声

国民、憲法学者、芸術家、宗教者、学者が戦争法案反対、意見を表明しています。西濃地域では、7月2日にもう黙つとれん西濃アクション「平和・自由・命を守るコンサート」が開かれ、党派を超えた議員が参加し

また、海津市では日本共産党的支部が、6月13日から、毎週土曜日に戦争法案反対の街頭宣伝を行っています。



7月2日 西濃地域の議員が党派を超えて集結



7月12日 海津市で集い



7月18日
「アベ政治を許さない」
全国一斉行動に海津市民参加

第2回定例会

6月11日～22日

一般質問要旨
堀田みづ子議員質問
「市民オンラインブズマン

海津」から「議員派遣
の旅費精算に航空賃の
領収書が添付されてい
ないため」提訴された。

職員が職務の遂行の
便宜のためにのみ利用
し、検討段階にとどま
るのは公文書として
扱っておらず、開示の
対象としていない。

以前の監査請求を、
再度検証することは考
えていい。
そのほか堀田議員は、
養老鉄道の調査報告書の
情報開示や、住民との共
同が必要であることから
議論できる機会を求めて
質問しました。

市長答弁
現在、職員の旅費の
支給は、条例に基づき
もともと経済的かつ合
理的な経路で、事務担
当者が算出根拠のある
資料を作成し、積算し
た額を支給している。
適正な旅費の執行を心
掛けているが、旅費執
行のさらなる透明性を
図るべく検討していく
たい。

市長答弁
今回の訴訟に至る原
因は、平成27年1月8
日に行われた「平成25
年7月の出張につい
て」の監査請求をきち
んと検証してなかつた
ためで、航空賃の領収
書がないことや研修の
あり方にたいする疑問
が出されていた。改め
て検証しないか。

また、通学道路の整備
や、市民から指摘があつ
た危険個所についても質
問し、調査を行うと答弁
がありました。

- 4/28 日米首脳会談で辺野古米軍新基地建設、「戦争法案」成立約束。
- 4/29 沖縄県の翁長知事が、日米首脳の新基地推進姿勢に怒る。
- 5/21 真宗大谷派(東本願寺)は、戦争法案に対し反対の意の宗派声明。
- 6/3 衆議院憲法審査会で、自民党推薦の憲法学者を含む三人全員が、「憲法に違反する」と表明。
- 6/11 海津市議会、「慎重審議」を求める意見書を全会一致で可決。
- 6/14 「総がかり行動6・14」国会包囲に2万5千人参加。民主党、共産党、社民党の党首クラス参加。
- 6/22 衆議院安保法制特別委員会で、二人の元内閣法制局長官が「違憲」「逸脱」と表明。安倍内閣、戦後最長の95日会期延長。
- 6/24 「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動」国会包囲。3万人参加。民主、共産、社民、生活の各党国会議員がスピーチ。
- 6/25 自民党若手・中堅議員「文化芸術懇話会」で、「マスコミを懲らしめる」「つぶせ」。普天間基地の成り立ちで沖縄県民を侮辱。
- 6/27 SEALDs(シールズニ自由と民主主義のための学生緊急行動)が戦争法案に反対するアピール街宣。民主、維新、共産、生活、社民の野党代表参加。
- 7/2 もう黙つとれん西濃アクション「平和・自由・命を守るコンサート」(JR大垣駅北口広場)
- 7/9 憲法学者9割「違憲」と回答。(中日新聞調査)
331の地方議会が安全保障関連法案に意見書。「慎重」181、「反対」144、「賛成」6。
- 7/12 「福祉と民主主義を考える集いin海津市」9条の会・海津設立。
- 7/16 安倍政権、衆議院で戦争法案を強行採決。
- 7/18 もう黙つとれん西濃アクション 全国一斉行動に呼応して、西濃地域の150人が「アベ政治を許さない」のポスターを掲げる。海津市民も参加。(JR大垣駅南口)
- 7/19 内閣支持率37%に急落。不支持率51%。安保強行採決73%批判。(共同通信社)
- 7/26 安保関連法案に反対するママの会 渋谷で2000人デモ。
大分市講演で磯崎首相補佐官が「法的安定性は関係ない」と暴言。
- 8/9 戦争法案に長崎から批判の声。長崎市長「慎重で真摯な審議を」
被爆者代表「平和を願う人々の思いを根底から覆す。許せない」
- 8/11 共産党が独自入手して暴露。5月末時点で防衛省統合幕僚監部が、
戦争法案の8月成立の日程表作成、施行前提の部隊編成まで計画。